

【開催にあたって : 十和田市現代美術館 館長 小池一子】

一点一点が絵画的実験の反復と、横尾忠則は自らの創作を表現しています。十和田市現代美術館の企画展示室はその言葉を実証するかのようなダイナミックな作品にみたまされます。

この夏から秋へ、十和田をかこむ自然環境が最も輝きを見せる時に、現代美術家の最高峰にいる横尾忠則が十和田への愛をこめて、個展タイトルも「十和田ロマン」。

1970年代のデザイナー・アーティスト時代に”十和田湖 奥入瀬“の奔流を描いた作家は近年、瀧をめぐる連作で知られています。本展にはさまざまな様式を駆使した大作絵画の瀧、また流れるイメージが幻想を誘う、テクナメーションと呼ばれる光画が登場します。

さらに立体作品として現れるのは、楽聖モーツァルトと弥勒菩薩が合体し、東西の文化が融合するかのような摩訶不思議の世界です。モーツァルト弥勒は弟子の猫と対話しています。なぜ？

すべてはアーティスト横尾忠則のPOP IT ALL! 時代を弾かせ（ポップして）創作し続ける作家の勢いにあるのです。

【開催概要】

展覧会名	「横尾忠則 十和田ロマン展 POP IT ALL」
会 期	2017年6月17日（土） - 2017年9月24日（日） *オープニング 6月16日（金）16:30～
開館時間	9:00-17:00（入場は閉館の30分前まで）
休 館 日	月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日） ただし、2017年7月31日（月）、8月7日（月）、14日（月）は開館。
会 場	十和田市現代美術館
観 覧 料	企画展+常設展セット券1000円。企画展の個別料金は一般600円。 団体（20名以上）100円引。高校生以下無料。
主 催	十和田ロマン展実行委員会、十和田市現代美術館
特別協賛	株式会社ぐるなび
協 賛	株式会社竹尾
特別協力	横尾忠則現代美術館、株式会社ヨコオズ・サーカス
協 力	株式会社中川ケミカル
後 援	東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、 十和田市教育委員会
企 画	キュレーター = 小池一子（当館館長） コ・キュレーター = 金澤韻（インディペンデント・キュレーター）

お問い合わせ

十和田市現代美術館 大谷、見留、新岡

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 横尾忠則プロフィール 】

1936年兵庫県生まれ。72年にニューヨーク近代美術館で個展。その後もパリ、ヴェネツィア、サンパウロ、バングラデシュなど各国のビエンナーレに出品し世界的に活躍する。アムステルダムのステデリック美術館、パリのカルティエ財団現代美術館での個展など海外での発表が多く国際的に高い評価を得ている。2012年、神戸に横尾忠則現代美術館開館。2013年、香川県豊島に豊島横尾館開館。2015年、第27回高松宮殿下記念世界文化賞受賞。作品は、国内外多数の主要美術館に収蔵されており、今後も世界各国の美術館での個展が予定されている。

<http://www.tadanoriyokoo.com>



図版2 撮影：吉田亮人

【 関連企画 】

- 会 期 2017年6月17日（土） - 2017年9月24日（日）※会期中は終日実施。
- 会 場 十和田市 商店街
- 内 容 美術館から徒歩5分程度の商店街の通りを、横尾忠則の本展覧会のポスターやステッカーが約1kmにわたって彩ります。店舗の包装紙も期間限定で本展のポスターの柄に変わります。
- まちなかにひらかれ、まちをひらく美術館として、アートを媒介に、街と人とをつなぐ十和田市現代美術館ならではの美術館と商店街とをむすぶプロジェクトになります。美術館から飛び出した横尾忠則のダイナミックな世界を、十和田市の商店街の風景や空気とともに楽しみください。

【 関連イベント 】

横尾忠則 公開制作

- 日 時：6月17日（土）10:00-12:00※詳細は後日発表
- 会 場：十和田市現代美術館
- 料 金：無料 ※要企画展チケット

ワークショップ「MAKE IT POP ポップなものをつくらう」

- 日 時：7月29日（土）、30日（日）
- 会 場：14-54(まちなかの会場：青森県十和田市稲生町14-54)
- 内 容：みんなで「コラージュ」や「ミニポスター」を作成し、作品をまちなかの会場に展示します。
- ※要事前予約 詳細は後日ウェブサイトにて

キュレーターズトーク

日時：8月26日（土）※予定

会場：十和田市現代美術館 市民活動スペース

登壇者：小池一子（当館館長、本展キュレーター）、金澤 韻（本展コ・キュレーター）

料金：無料 ※要企画展チケット

内容：横尾忠則の代表的な「瀧」シリーズのルーツとも言われている奥入瀬溪流。まさに原点とも言えるここ十和田の地で開催される展覧会です。

1981年にグラフィックデザイナーからアーティストに転向した横尾忠則が「瀧」シリーズを最初に発表したのが、小池一子が創りあげたオルタナティブスペース「佐賀町エキジビット・スペース」でした。

ともに日本のアートシーンを創りあげ「クリエイティブ」を追求し続けてきた2人。

このトークでは、本展企画者である館長の小池と、共同企画者でありインディペンデント・キュレーターの金澤が、瀧シリーズの発表された時代状況を中心に、横尾忠則について語ります。

*上記の他にも、会期中にイベントを予定しています。詳細は後日発表します。

*日時、ゲスト、内容等は変更となる場合があります。最新情報は随時ホームページでご確認ください。

【 作品紹介 】

出品作品数：絵画作品（約40点）



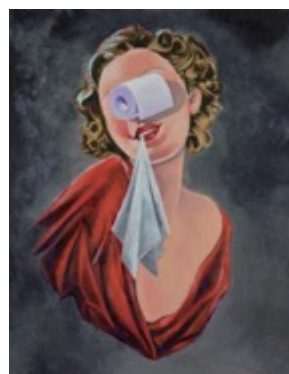
図版3《集合と分散-その力の働き》1991
作家蔵〔東京都現代美術館寄託〕



図版4《消された記憶》1994
横尾忠則現代美術館蔵



図版5《地の鼓動》1993
横尾忠則現代美術館蔵



図版6《トイレtpーパーと女》2017
作家蔵

* 画像の貸し出しをご希望の際は担当までご連絡ください。

* 画像1点のみでの掲載となる場合は、メインビジュアル（表紙掲載の図版1）とさせていただきます。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 大谷、見留、新岡

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com